



2021年7月30日  
株式会社日立製作所  
執行役社長兼COO 小島 啓二  
(コード番号：6501)  
(上場取引所：東 名)

## 2022年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

### 1. 2022年3月期第1四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益※1		EBIT※2		継続事業 税引前四半期利益		四半期利益		親会社株主に帰属 する四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第1四半期	2,367,437	48.5	130,483	123.5	168,670	△50.5	166,855	△50.9	136,949	△39.5	122,231	△45.2
2021年3月期第1四半期	1,594,277	△21.6	58,370	△53.1	340,418	86.5	339,709	86.8	226,491	61.5	223,251	85.6

	基本1株当たり 親会社株主に帰属 する四半期利益	希薄化後1株当たり 親会社株主に帰属 する四半期利益	売上収益 調整後 営業利益率	売上収益 EBIT率
2022年3月期第1四半期	円 126.49	円 126.33	% 5.5	% 7.1
2021年3月期第1四半期	円 231.13	円 230.86	% 3.7	% 21.4

※1 当社は「営業利益」に代え、「調整後営業利益」を連結経営成績に関する指標として用いています。  
「調整後営業利益=売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費」により計算しています。

※2 EBITは、Earnings before interest and taxesの略であり、「EBIT=継続事業税引前四半期利益-受取利息+支払利息」により計算しています。

#### (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社株主持分	親会社株主持分比率	1株当たり 親会社株主持分
	百万円	百万円	百万円	%	円
2022年3月期第1四半期	11,899,746	4,503,107	3,594,003	30.2	3,715.64
2021年3月期	11,852,853	4,458,232	3,525,502	29.7	3,646.46

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円	円	円	円	円
2021年3月期	—	50.00	—	55.00	105.00
2022年3月期	—	—	—	—	—
2022年3月期（予想）	—	—	—	—	—

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無  
2022年3月期の配当予想額は、未定です。

### 3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		EBIT		継続事業 税引前 当期利益		当期利益		親会社株主に 帰属する 当期利益		基本1株当たり 親会社株主に 帰属する当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	9,500,000	8.8	740,000	49.4	820,000	△3.6	800,000	△5.3	620,000	19.6	550,000	9.6	569.11

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2022年3月期1Q	968,234,877株	2021年3月期	967,885,277株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2022年3月期1Q	971,738株	2021年3月期	1,055,799株
------------	----------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）（注）

2022年3月期1Q	966,301,120株	2021年3月期1Q	965,905,747株
------------	--------------	------------	--------------

（注）基本1株当たり利益の算定上の基礎となる株式数を記載しています。なお、2022年3月期の連結業績予想における基本1株当たり利益の算定上の基礎となる株式数は、966,426,868株です。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が本資料の発表日現在において合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。詳細は、「2022年3月期第1四半期 連結決算」の10ページ「将来の見通しに関するリスク情報」をご参照ください。